

地球惑星科学専攻 地球科学輻合部特別講演会

2009年6月17日（水曜日）16時30分～18時00分

京都大学理学部6号館2階201号室

古気候モデリング：モンスーンと ENSO

鬼頭 昭雄

気象庁気象研究所

講演要旨：

古気候相互比較実験第2期(PMIP2)で行われている大気海洋結合モデル及び大気海洋植生結合モデルによる6,000年前の完新世中期及び21,000年前の最終氷期最盛期のシミュレーション結果から、気温・降水量（モンスーン）の変化およびエルニーニョ南方振動現象の変化についてのレビューを行う。また気象研究所のモデルによる実験結果の一部についても紹介する。これらの研究は地球温暖化予測とは表裏一体の関係にあり、将来気候予測との関連を意識して議論したい。

問い合わせ先：余田 成男・渡邊 裕美子